

外国人材の受入に向けた 日本鑄造協会の取組について

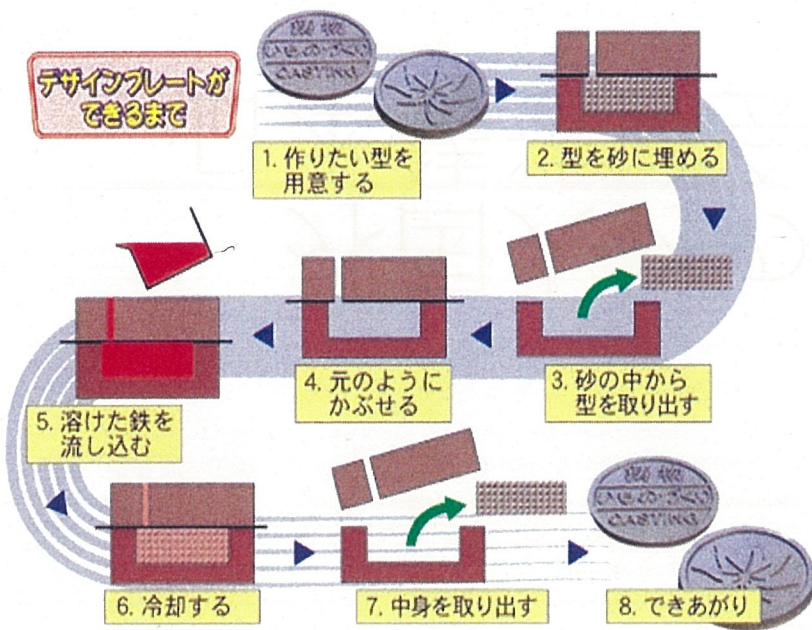
平成31年3月26日

一般社団法人日本鑄造協会

1. 鑄造産業とは

- ◆ 鑄造とは「金属を溶解して型に流し込み、部品・製品を製造する製法」
- ◆ 金属部品・製品を複雑な形状で安価に製造できることが特徴。
- ◆ 鑄物製品は、幅広く様々な産業で活用されている(自動車部品から日用品まで)
- ◆ 製造工程は多岐にわたっており、材料の知識、型の選定、旋盤による切削など、各々の専門性に基づく多種多様な技能が必要。

鑄物製品の製造工程
(例：デザインプレート)



主な鑄物製品

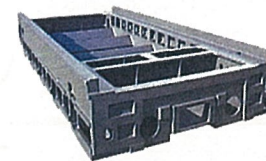
自動車用部品
※自動車の10%が鑄物製品
(重量ベース)



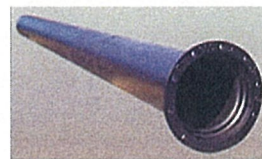
ディスクローター



デフギアケース



工作機械ベッド



鑄鉄管



ゴルフクラブ
ヘッド



鉄瓶

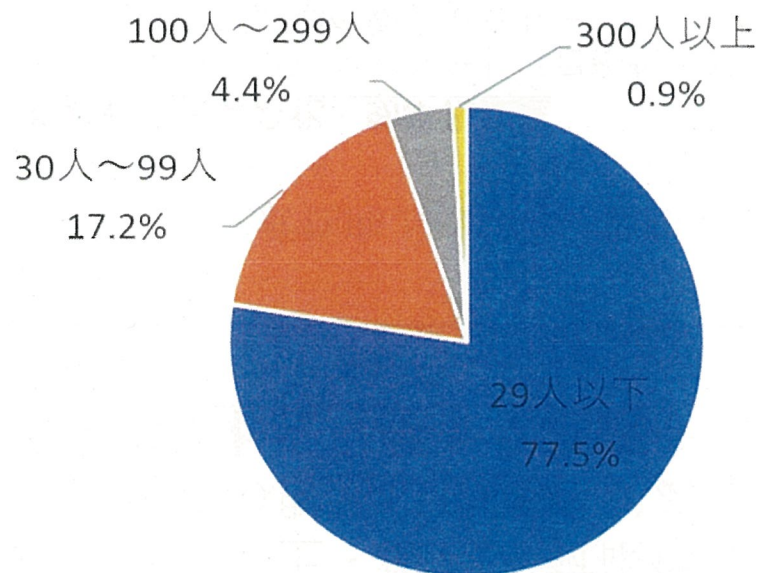
2. 鑄造産業の現状

- ◆ ほとんどが中小企業であり、とりわけ従業員30人未満の小規模事業者が大多数（7割以上）を占めている

※事業所別では300人未満の事業所が99.1%、30人未満が77.5%。

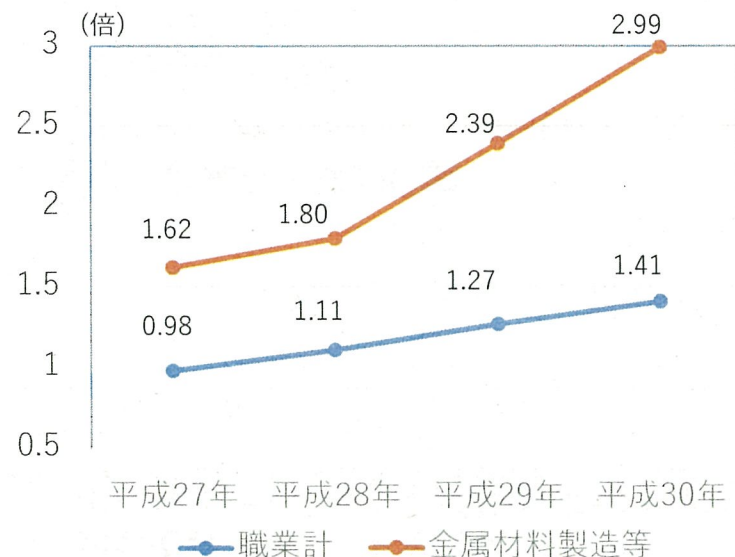
- ◆ 人手不足は年々強まっており、平成30年の有効求人倍率は2.99倍。

銑鉄鑄物製造業における
従業員規模別事業所数



平成28年工業統計（産業別統計表）

有効求人倍率
(金属材料製造等)



※「金属材料製造等」は平成31年1月時点で3.32倍

※「金属材料製造等（金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業）」に「鑄物製造工」が含まれることから、これを鑄造産業に従事する労働者の職業と見なす。

3. 鑄造産業における生産性向上・国内人材確保の取組

- ◆ 生産性向上・国内人材確保に向け、小規模事業者が大多数を占めており個社での取組には限界があることから、業界全体で知恵を持ち寄って、長年にわたり様々な取組を進めてきた。今後もさらに取組を続けていく。

生産性向上に向けた取組

◇自動化・省エネ化・効率化推進

- ・「スマートファウンドリー」（自動化・省エネ化した環境配慮型の安全でクリーンな工場）の実現に向けたアクションプラン策定（鑄造産業ビジョン）
 - －IoT等新技術を導入した設備投資
 - －3Dプリンター、ロボット、AI、VR等最新技術活用
 - －生産管理能力と品質保証能力の強化
 - －IoT技術やビッグデータの活用

◇人材育成

- －鑄造入門講座（2010年開講、36科目）
 - －鑄造カレッジ※（2007年開講、30科目+インターンシップ）
 - －鑄造カレッジ上級コース※（2014年開講、24科目）
- ※修了者には「鑄造技士」の称号授与
これまで約1000人に授与。

国内人材確保に向けた取組

◇女性・高齢者の雇用促進

- ・業界としての方針策定（鑄造産業ビジョン）
 - －労働環境の整備
 - －鑄造の認知度向上 など
- ・好事例の共有
 - －女性・高齢者にも配慮した設備環境改善（作業場の空調導入など）や作業軽減策等
 - －組合代表者会等で会員企業に周知

◇取引適正化

- ・「自主行動計画」の策定
 - －価格決定方法の改善・適正化、型管理等のコスト負担の改善、支払条件の改善 など
- ・労務費シミュレーションソフトの作成
- ・講演会・説明会の開催
（昨年度以降全国14ヶ所で開催、531名が参加）

4. 鑄造産業における技能実習生との共生に向けた取組

- ◆ これまで、鑄造産業では、従事する外国人材が地域において生活を送る上で様々なサポートを行ってきた。
- ◆ 技能実習を終えた研修生は、帰国後、母国で活躍している。

地域における技能実習生

◇地域の鑄造関連の協同組合等の主な取組

- 組合の敷地内に宿舎を建設、管理人兼通訳が同居し、生活上のケアを実施
- 毎週の日本語教育の実施。
- 生活ガイダンス、病院の紹介、各種行政手続きの同伴
- 相談、苦情対応
- 社員（組合）旅行や忘年会などへの招待



※組合主催の合同社員旅行（東京観光）の様子

実習後の技能実習生の活躍

- ◇ 受入れ企業のベトナム現地工場に就職し、現場のリーダーとして活躍
(20代～30代)



- ◇ 中国の鑄造企業に就職し、幹部職員（工場長等）として活躍
(30代～40代)

- ◇ 中国に進出している日系企業に就職し、即戦力として活躍
(20代～30代)

5. 新たな在留資格の活用にあたって

- ◆ 鋳造産業では、今後も、従事する外国人材との共生に向けた取組を進めていく。

心の交流

- ◇社員旅行や忘年会等の社内行事の開催



※社内忘年会の様子

- ◇心配事や不満などの相談を定期的を実施



自治体との連携

- ◇自治体、自治会等の行事への積極的な参加



※技能実習生と市、町内会との交流会の様子

- ◇自治体、地元警察署等の協力を得ながら、生活や交通ルール等の研修を実施



※市主催のごみの分別講習会の様子

地域間連携

- ◇各地域の鋳物組合で構成する組合代表者会などで、特定技能者に関する情報等を共有



- ◇自治体が実施している制度などの活用を模索。